

**こんにちわ**  
2万人目の町民です。よろしく

私の名前は芋坂寿子といいます。なんでも二万人目の町民だとか。生まれたのは母子健康センターです。今はオッパイを飲んで眠るだけの毎日ですが、早く大きくなってお父さん、お母さんを安心させてあげたいと思います。生まれたばかりの赤ちゃんが新聞やテレビに出るのは、あまり例がありませんよね。私ってラッキー・レディかしら。

【特集】—— ことしの予算 —— 2  
町づくりマップ 79 5  
★交通安全協会からの提案 9  
資源回収事例④ 11

# まぐびつ

'79  
**4**

No.327 ●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111  
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

# 54年度予算決まる

## 町長 町議 改選期で編成は骨格予算

五十四年度の町づくりに使うお金は、一般会計と特別会計を合わせ六十三億千八百二十九万九千円です。新年度の予算編成は、町長および町議会議員の改選期に当たっていることから、骨格予算として提案し、三月十六日の第一回町議会定例会で議決されました。新しく取り組む事業の予算は六月に開催される議会に提案することにしています。新年度予算の中からみなさんに特に関係の深いものをお知らせします。

新年度の予算は、四月に町長と町議会議員の改選期を控えているため、義務的経費や継続事業を基にした骨格予算として組んであります。したがって新規の事業や政

策的予算は六月議会に提案することになります。

予算の編成は町の総合計画の目標である「生活と生産の調和」に置いて進めました。この目標を四

つの大きなテーマに分けて予算をつくりました。①生活環境の整備（住みよい町づくり）②生活福祉の充実（あたたかい町づくり）③産業の振興（豊かな町づくり）④教育文化の進展（明日への町づくり）

町づくりにことし使われるお金は一般会計と特別会計を合わせ、六十三億千八百二十九万九千円で五十三年度の当初予算（六十二億九千四百七十一万一千円）と比べると〇・四％の伸びです。

ました。

ことしは札内南あかしや団地に三DKを十六戸（四階建）、新・緑町団地に三DKを八戸（二棟）をそれぞれ建設します。また、建設してから年数がたっている公営住宅の改修も行います。

●公園  
明野が丘総合公園（開基八十年記念事業として五十一年からスタート）の造成はますます本格化します。ことしは駐車場と広場の造

成工事を行います。なお、五十三年度にスキー場部分の土地一万八千二百三平方メートルの買収を終えています。

また、昨年度に用地買収を行った南町公園の造成は、ことし行います。

環境庁から国民保養温泉地に指定された国民宿舎・幕別温泉ホテルの一角では、遊歩道の整備をします。この事業は年次計画で進めていきます。

### ●下水道

私たちの生活環境を見えない所で支える公

共下水道事業はことしで五年目を迎えます。

幕別市街の下水管理設

工事は、幹線が千代田通りに沿って三百七十八メートル、枝線

は旭町団地内で二千五百五十九メートルをそれぞれ実施します。

●水道  
明野の武山築堤沿いに建設している終末処理場は、水処理棟の土木工事を行います（地下四百五十平方メートル、一階部分千五百六十六平方

一般・特別会計合わせて63億1,829万9千円

### 住みよくなる町づくり ● 生活環境の向上に重点

#### ●道路

町の中を網の目のように走るたくさんの道路。どれもが私たちの生活を支える大切なものです。幹線町道では幕別札内線の道路改良、千住十五号線凍雪害防止、日新線と軍岡大豊線、幕別札内線の舗装などの工事を行います。こ

#### ●住宅

のほか、相川南二と千住、豊岡の農道整備を行います。市街地では継続事業となつている千代田通りを舗装します。



身近に子供たちの遊び場を——ことしも公園のネットワークを効果的に進めます



検定満了にともなうメーターの  
取り替え四百七十戸分を予定して  
います。

● 街路灯  
水銀灯四十基、白熱灯二十一基  
を新設します。

## あたたかい町づくり ● 一人一人の幸せと健康

### ● 福祉

福祉は、一人一人の生活の保障  
と生きがいを求めるもので、自立  
と相互扶助の精神が基本です。現  
在の福祉施策がみなさんにとって  
必ずしも満足できる状態だとは考  
えていません。しかし、財政状態

をみた時に福祉施策を前進させる  
ことがなかなか難しい状況です。  
ただ、少なくとも福祉施策を後退  
させてはならない——これは変わ  
らず持ち続けている町政の方針で  
す。

● 保健  
お年寄りや心身障害者の方、母  
子家庭、低所得世帯への施策は前  
年度と同じく引き続き実施します。  
福祉施策の詳しい内容は「ハンド  
ブック・まくべつ」の二十二ペー  
ジ以降をご覧ください。

● 産業  
私たちが明るく幸せな毎日を通

## 豊かな町づくり ● 産業の発展を応援

● 農業  
土地基盤整備や農道の整備は事  
業費が巨額なこと、長期間かかる  
仕事であることから国や道の施策  
に頼らざるをえません。

● 道 営  
古舞地区農地開発事  
業と茂登谷・新川・相川・上以平  
地区の直轄明渠排水事業が継続さ  
れます。また、幕別地区（千住と  
相川を対象）畑地かんがい排水事  
業の全体計画が昨年に引き続いて

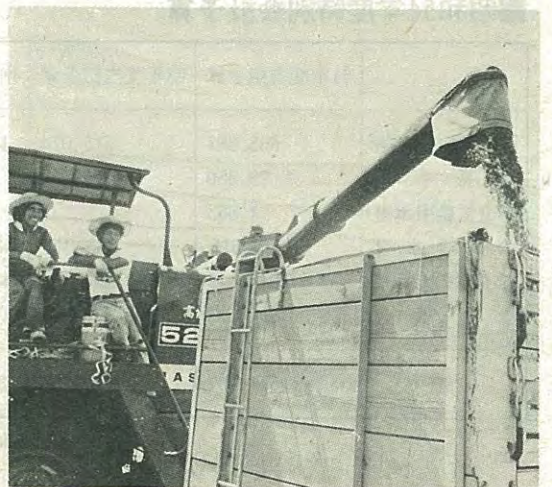
ごすには、心身共に健康であるこ  
とです。町民一人一人が自ら選ん  
で心身を鍛え、健康づくりに努め  
ることを希望します。

町は、町内の開業医のみなさん  
の協力を得ながら保健活動を通じ  
町民の健康管理と疾病の予防に最  
善をつくします。脳血管疾患、心  
疾患、悪性新生物（いがん）など  
の成人病が死亡原因に占める割合  
はたいへん高くなっています。成  
人病予防のための各種検診をこ  
しも意欲的に行います。

● 勤労者生活資金  
失業保険が雇用保険に変わり、  
五十日給付となったため、特に冬  
期間の利用が多い制度です。こと  
しも引き続き、年利率三%の低利  
で十万円を限度にお貸しします。  
詳細は「ハンドブック・まくべつ」  
二十五ページをご覧ください。

● 道 営  
畑総事業は糠内地区、  
糠内第二地区、南勢地区の三か所  
で継続して実施されます。大豊第  
二地区開拓農道と西糠内地区農免  
農道の整備、軍岡・猿別・西糠内  
明渠排水事業も行われます。

● 団 体 営  
豊岡地区農道整備（普  
通）、千住地区農道整備（同）、  
相川南第二地区農道整備（舗装）  
が行われます。



安定した農業経営の実現をいろいろな施策で応援

● 商工業  
長期化した不況と帯広への大型  
店進出など、町の商工業をとりま  
く状況は厳しいものがあります。  
これらに対処するため商店街診  
断を行い、経営の改善と合理化に  
役立たせたいと考えています。ま  
た、小規模企業対策資金貸付や利  
子補給を実施するとともに、企業  
の体質を強化するために商工会活  
動の援助をします。

また、農業構造改善のための施  
策として高能率畑作経営確立対策  
てん菜生産安定拡大対策、大規模  
畑麦作団地育成などの事業を導入  
します。相川には土壌診断室を備  
えた農業担い手会館を建設します。  
場所相川二十三号会館の所。  
酪農振興を目的とする施策は、  
町有牛購入や酪農私道整備を行  
います。



健康で暮らすには、ふだんから体力づくりを

明日への町づくり ●  
**教育環境ますます向上**

● 学校教育

札内南小学校の新校舎は先月完成、引越しが終わりました。こ  
 としは、特殊学級（言語障害をもつ  
 子供たちの機能回復をめざす学級）  
 と屋内体育館を建てます。

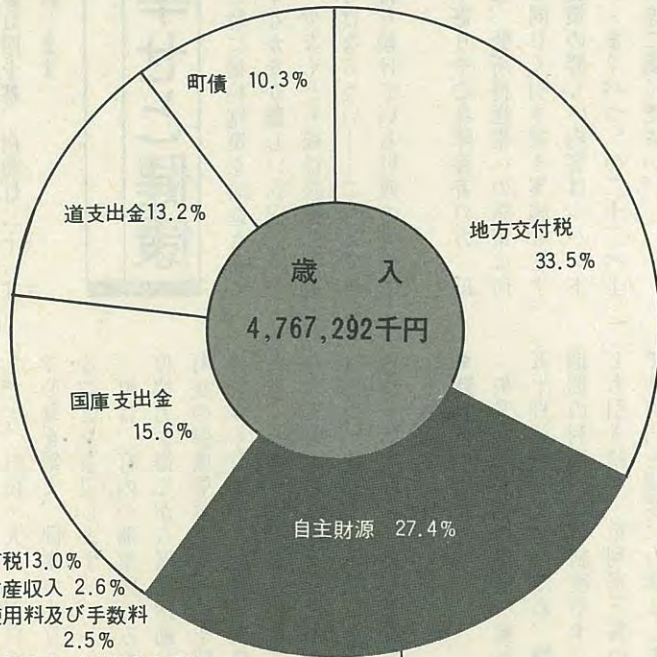
● 社会教育

子供たちから高齢者に至るまで  
 町民一人一人が満足できる学習の  
 場を用意します。  
 みなさんがよその町、よその国  
 を見る中から新しい目で幕別を捉  
 える機会をと、青年婦人国内研修、

道民の船、生涯学習海外セミナー  
 への派遣も計画しました。

広報三月号の特集でもお知らせ  
 しました「ふるさと館」は十月一  
 日オープンをめざし、仕事を進め  
 ています。郷土の歴史を永く残す  
 とともに、幕別を自然科学の目で  
 捉えたり未来の町の姿をも表現し  
 た総合博物館的なものになります。  
 歴史を語る古い品物、珍しい道具  
 の提供をお願いします（ふるさと  
 館について詳しいことは五月号で  
 特集します）。

昭和54年度一般会計予算

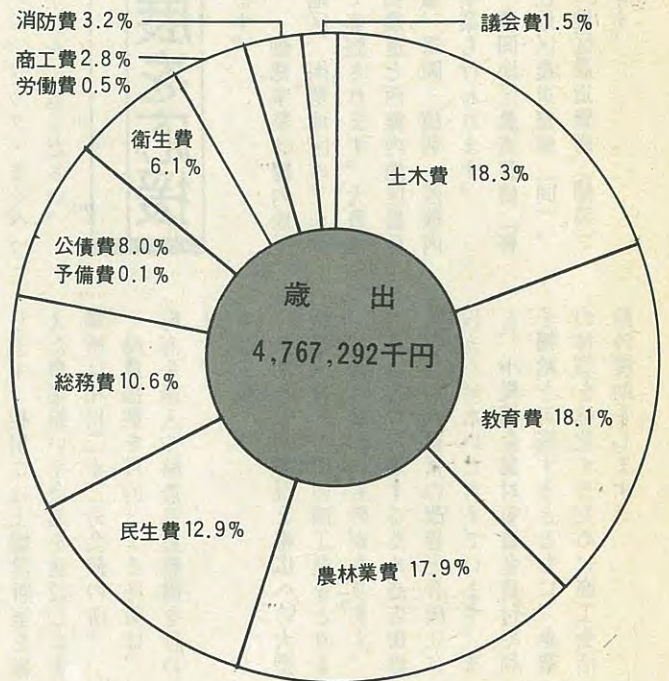


- ・町税13.0%
- ・財産収入 2.6%
- ・使用料及び手数料 2.5%
- ・分担金及び負担金 1.5%
- ・繰入金 1.1%
- ・寄付金 0.2%
- ・諸収入 6.5%

■昭和54年度特別会計予算

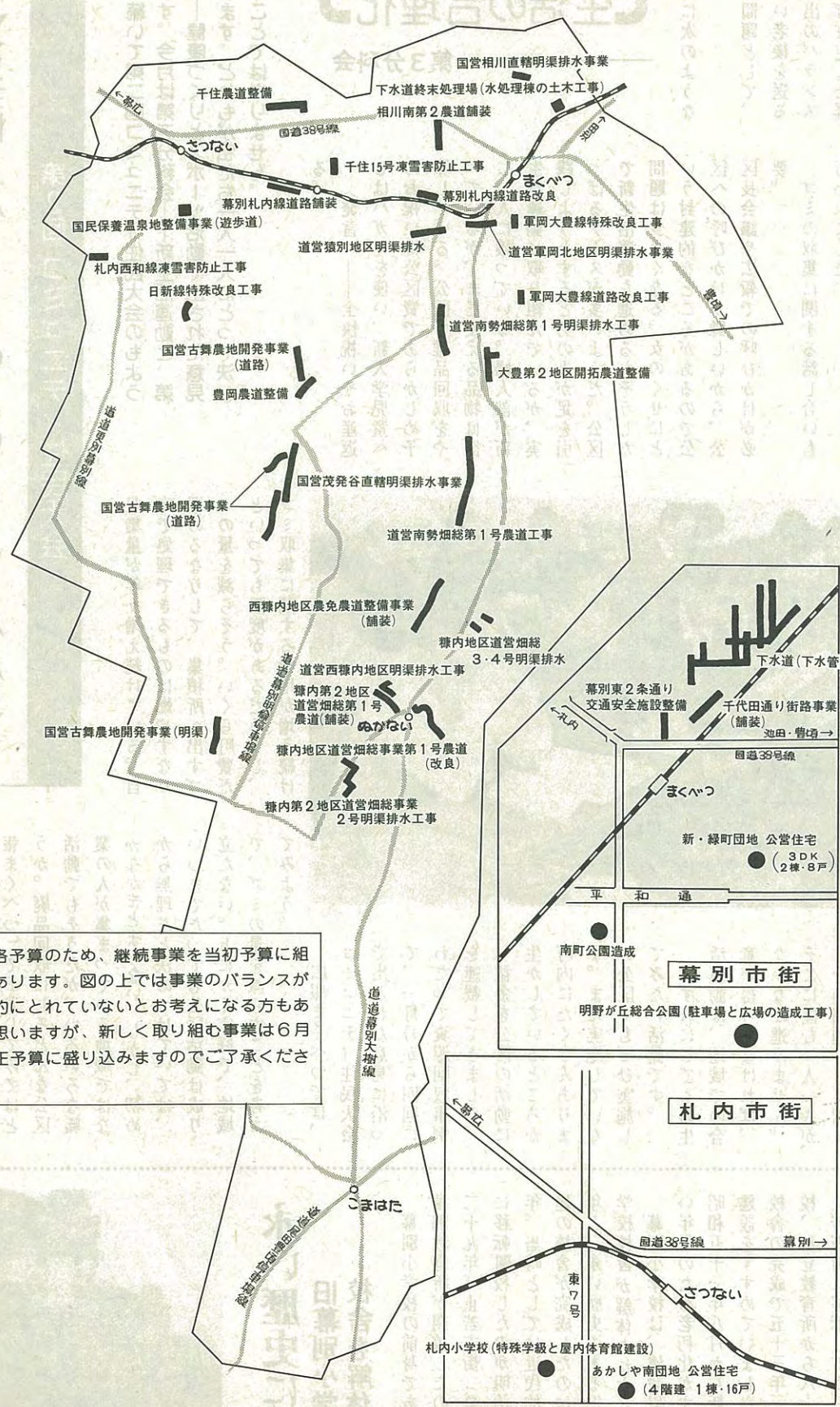
	54年度当初予算	53年度当初予算	増 減
国民健康保険	663,287	515,074	148,213
簡易水道	23,860	16,500	7,360
駒島営農用水道	1,863	0	1,863
公共下水道	378,615	243,041	135,574
国民宿舎事業	248,849	254,488	▲ 5,639
水道事業	234,533	218,847	15,686
計	1,551,007	1,247,950	303,057

(単位：千円 ▲は減)



# 町づくりマップ'79

中央馬場をみるびろろ



骨格予算のため、継続事業を当初予算に組んであります。図の上では事業のバランスが地域的にとれていないとお考えになる方もありますが、新しく取り組む事業は6月の補正予算に盛り込みますのでご了承ください。

# 生活課題をみんなで解決

## 第2回「コミュニティ住民大会」

先月号に続いて第二回「コミュニティ住民大会」のよう  
を掲載します。今月は第三分科会——新生活運動と、第  
四分科会——健康づくりとスポーツ活動で出された意見  
をご紹介します。どれもが私たち一人一人にとって決し  
て無関係なことではありません。

# 暮らしのムダ と 生活の合理化

## 第3分科会

話し合いに入る前に次のような  
提言がありました。  
私たちの共通する問題として、  
快適な生活を楽しい老後を送る  
のが希望。収入と支出のバランス  
をうまくとらなければ安定した経  
済生活は成り立っていかない。地  
域の問題を取りあげて実践してい  
く上で、公区活動は最も大切であ

る。

〔発言〕——全快祝いやお産返  
しはハガキを使い、新入学児童へ  
のお祝いは公区費であらかじめ予  
算している。公区で雑品回収をや  
っているが、まだ使える品物は欲  
しい人に譲っている。婦人部が新  
生活運動に取り組んでいるが、実  
践しようとする男の人が足を引  
っぱりケースが多いようだ。公区  
で新生活運動を進めるとそうした  
問題は少なくなる。女のくせにと  
いう封建的などころがあるので公  
区への呼びかけが難しいから、公  
区長会議や広報での呼びかけが必  
要。

ゴミの収集に関する話し合いも  
行われました。

〔発言〕——無料収集（四十八  
年から）になってから、なんでも  
持っていつてくれるというので、

収集量が年々増え続けている。自  
宅で処理できるものは燃やすなり  
埋めるなりして、集積所へ出すゴ  
ミの量を減らそう。いくら町費だ  
といっても限度があるだろうし、  
ゴミ収集に関する費用が増え続け



私たちの周りにはムダがたくさんあります。それを少しずつ改善しようというのが新生活運動です。

るとその結果、他の住民サービス  
に影響してしまう。ゴミも大切な  
資源と考えて、回収運動をもっと  
広げるべきではないか。現在実践  
している公区のようなすを町の「広  
報まくべつ」でPRしてみてもど  
うか。廃品回収にしろどんな公区  
活動でもそうだが、いろいろな職  
業の人が集まっている地域ではな  
かなかまとまらない。しかし、初め  
から無理だと決めつけていては、  
いつまでたっても公区活動は成り  
立たない。とにかく家庭で、地域  
で、ゴミの量を減らすことを考え  
てみよう。

広報まくべつでは、  
コミュニティ住民大会  
で出された意見に沿っ  
て、一月号から四回に  
わたって資源回収事例  
を連載してきました。  
益金を公区の活動に  
生かしているところが  
町内にたくさんありま  
す。まだ実施していな  
い公区でもぜひ実施し  
てみたい活動です。  
いづれにしても新生  
活運動は、地域での合  
意が得られなければ、  
なかなか進みません。  
そこに住む一人一人が  
自分の問題として捉え  
てはじめて地域の運動  
として広がるのだ、と  
いえます。



## 永い歴史に幕 旧幕別小学校 校舎を解体

幕別小学校の前身である私立  
猿別教育所が開校したのは明治  
二十九年。止若市街（幕別市街）  
に移転開校したのは明治三十九  
年。当時としては近代的な二階  
建の校舎が完成したのは昭和七  
年と、永い歴史のある旧幕別小  
学校校舎が解体されました。  
幕別小学校は、建設以来の永  
い年月のため老朽化がすすみ、  
昭和五十一年八月から新校舎の  
建設をすすめていきましたが、新  
校舎の完成で五十三年三月に閉  
校、私立教育所から八十二年、  
止若市街に移転してから七十二  
年という永い歴史に幕をおろし  
ました。  
この小学校跡地利用のため、

# 健康づくりとスポーツ活動

第4分科会

町民の体力向上と健康増進も町政の大きな課題です。第四分科会では健康づくりとスポーツ活動の必要性、地域ぐるみでの健康づくり、施設設備の充実について意見

が交わされました。

〔発言〕——現代っ子の精神的な面の問題点として運動がきつくなるに参加しなくなる、楽なほうへすぐ向く、うまい言葉で逃げるなどの傾向がある。また体力的には肥満児、運動ぎらい、ひ弱な体力などが特徴。スポーツクラブに入っている子供は挫折や非行が少なくないし、協調性がある。低学年の場合、親がスケート靴をはかせて

やっているが、過保護ではないか。親子でできるスポーツをそれぞれの家庭で考えてみよう。スポーツ本来の目的はもつと別なところにあると思うのだが、最近優勝負けに必要以上にこだわりすぎる傾向

がある。地域（公区）の体育活動は、やりやすいものから取り入れることが成功のコツ。そこから地域のスポーツの輪が広がる。施設設備の面では、気軽に参加できる施設がそれぞれの地域に欲しい。学校開放を促進すれば、施設面はかなり解消できる。総合体育館の建設も考えていくべきだ。

向がある。

こととして二回目のコミュニティ住民大会ではこのように多くの意見が出されました。どの分科会のテーマも私たちが直面している生活課題です。いまだ模索の状態ですが、みんなで考えていこうという

電球や、カバーなどの取付器具は気がつかないうちに汚れ、暗くなります。こうなると余分な電灯をつけることになり不経済です。いつもきれいに掃除しておきましょう。

●こまめに消しましょう

## ★省エネルギー

家庭で、もつとも親しまれているエネルギーといえば電気です。私たちの生活のすみずみにいきわたっている便利なものです。また、水や空気と同じように、すぐ手に入るような感じで受けとめています。そのためか、ついムダな使い方をしがちです。電気は石油や石炭などの力で作られています。これらの資源はほとんどを外国に依存しています。限りある資源を節約し、大切にすべき時なのです。照明のための消費電力量は、蛍

光にするか白熱灯にするかで違いますし、カバーがついているかどうかでもずいぶん違います。蛍光灯は白熱灯の三分の一の電力ですみますし、カバーをつけない直接照明のほうがそれよりさらに二倍くらい明るくなります。

## 蛍光灯がおとくです



●八畳間なら蛍光灯六十ワット  
こうこうと電気をつけている家をよく見かけますが、部屋の照明は明るければよいというものではありません。広さに合った適正な明るさがあります（下の表を参考にしてください）。

●こまめに消しましょう  
電球は点滅によって寿命が少し短くなりますが、電球の値段と電気代を比較すると、つけっぱなしにするよりも、こまめに消したほうが経済的です。

### ●お部屋の広さと適正ランプ

広さ	蛍光灯	白熱灯	
(畳)	下面開放 	笠つき 	グローブ 
3	20W×1本	20W×2本 または 30W×1本	40W 60W
4.5	20W×2本 または 30W×1本	20W×3本 または 30W×2本	60W 100W
6	20W×2本	20W×3本 または 30W×2本	60W 100W
8	20W×3本 または 30W×2本	20W×4本 または 30W×3本	100W 150W
10	30W×3本 または 40W×2本	30W×4本 または 40W×3本	100W 150W



小さな時からスポーツに親しみましょう

う姿勢は少しずつ前進してきています。（おわり）

すでに開園している町立若葉幼稚園のほか各種の施設を建設することになり、三月十四日午前九時から解体工事の安全祈願式を、関係者が出席して行いました。  
解体工事はじまると、同校を卒業した年輩の方々が、感無量の面持ちで作業を眺めていました。  
なお、公立校となった明治三十一年の在校生は四十九人。以後、児童数は増加し、止若市街に移転してから閉校となった五十二年三月までに、八千四百四十人が同校を巣立っています。

ま く べ つ の 人 口 が 二 万 人 に

# 二万人目の町民は寿子ちゃん。

三月二日、幕別の人口が二万人になりました。二万人目の町民となったのは相川に住む苧坂照明さんと喜美子さんの長女、寿子ちゃん。寿子ちゃんは二日午前十一時五十五分に母子健康センターで誕生しました。八日には町から記念品を贈り、人口二万人達成をお祝いしました。なお苧坂家では五十五年ぶりの女の子の誕生とあつて、二重の喜びとなりました。

## 母子健康センター で元気に産声

三月二日の午後四時五十三分に幕別町の人口が待望の二万人となりました。  
二万人目の町民となったのは相川二十六番地の苧坂照明さんと喜美子さんの長女・寿子ちゃん。寿子ちゃんは二日午前十一時五十五分に母子健康センターで出産、生れた時の身長は五十三センチ、体重三千五百グラムと、身長は標準以上。  
農業後継者の第一子が二万人目の町民になったほか、苧坂家にと

つては五十五年ぶりの女児誕生とあつて、二重の喜びとなりました。お母さんになった喜美子さんは岩手県稗貫郡石倉谷町の出身。宮城農業短大に在学中に、北海道農業の実習を——と相川の妹尾さん宅に寄宿したのが、照明さんとの最初の出会い。その後、幕別農協・富谷晴一専務の骨折りによつて、多くの方々の祝福をうけ昭和五十二年九



町から苧坂さんご一家に記念品をさしあげました

びの苧坂家を訪れて二万人目の寿子ちゃんと対面、記念品をおくりお祝いしました。

## 幕別の人口は 女性がやや優位

ことし二月末現在で、あと五十三人で二万人というところから、人口の伸びは足踏み状態をつづけ、二月に入つても増減をくりかえしたため、二万人達成は四月になるものとみられていました。

ところが、二月二十四日以降、転入、出生が増加。二月二十四日六人、二十六日五人、二十七日七人、二十八日八人、三月一日四人とわずか六日間で三十人も増え、二万人達成は秒読みの段階となりました。

二日の午後、役場の仕事が終わる七分前の四時五十三分、照明さんが出生届を提出、この瞬間、幕別の人口は二万人となりました。三月二日午後五時現在の男女別人口は、男九千八百四十人、女一万六千六十人です。

なお、幕別の人口が一万人をこえたのは猿別市街に戸長役場が設けられた明治三十年から二十三年

目の大正九年。その後五十九年かかって一万人増加したことになります。

(昭和)年	自然増 (出生-死亡)	社会減 (転入-転出)
30	257	△ 232
35	186	△ 106
40	118	△ 5
45	196	△ 98
47	248	143
48	240	136
49	242	△ 43
50	230	13
51	220	230
52	201	207

△は減

## 住宅団地の造成が 人口増加に影響

十勝管内他町村の過疎にたいし幕別の人口が年々増加をみせたのは、帯広市に隣接しているという地理的理由のほか、昭和三十九年に完成した春日団地をはじめとし、四十年の緑町団地、四十一年のあかしや団地、五十年のあかしや南団地と、相次いで造成した住宅団地の完成が、人口の増加に大きく影響しています。

右の表のように、自然増(出生から死亡を引いた数)では、年間二百人前後増えていますが、社会増(転入から転出を引いた数)では逆にマイナスの年がつづき、住宅団地が完成し、続々と住宅が建設された四十七年から増加に転じていることから、住宅団地の造成が人口増に拍車をかけたといえるようです。



# 4月から 車を持っている人だけでなく 全家庭が会員になりました

自分だけは大丈夫——交通事故は他人事と、あなたは思っていないませんか。昨年、幕別では三人が亡くなり、七十三人がケガをしました。決してあなたが交通事故にあわないとは言えません。交通安全協会では、幼児からお年寄りまですべての町民のみなさんへ、交通事故防止を目的にいろいろな働きかけをしています。現在、協会は車を持っている人（正会員）と賛助会員で構成されています。交通安全は全町民にとって大事な問題であるため、ことしから町内の全世帯が正会員となり、いっそう運動を広げようと考えました。みなさんのご協力をお願いします。

## 会則を改める理由

現在、交通安全協会は車を持っている人＝正会員と、事業所などの賛助会員で組織されています。実際の交通事故状況を見ると、

運転する人だけが交通安全に気がついたら事故がなくなるとは決まっています。歩く人、自転車に乗る人も運転者と同じように交通安全運動に参加しなければ、事故は減りません。

こうしたことから、車を持っていない、いないにかかわらず全町民が交通安全協会に入って、運動をより活発なものにしようということになりました。これまで、法規

講習会などの席上、公区長さんや会員のみなさんと協議を重ね、賛同を得てきました。

会則の変更は役員会で協議した後、六月に開かれる公区長会議の時に交通安全協会の総会を併せて行い、その席で決めたいと思います。

## ここが変わります

正会員の規定は現在、「自動車または原動機付自転車の所有者」となっています。これを「町内在住者」（一世帯ごと）に変えたいのです。なお賛助会員は今と同じです。

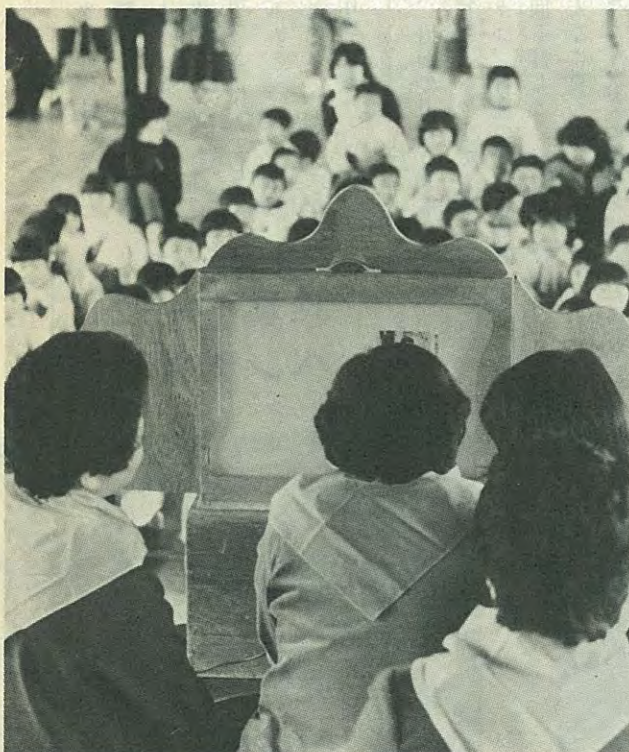
また、協会の役員は会長、副会

長、理事、監事、幹事で構成されています。このうち幹事を「総代」に改正したいと思います。総代は各公区を代表する方（公区長または交通に関する役員）で、協会の運営に参加していただきます。通常総会は年一回、全会員が集まって行っていますが、実際にはすべての会員が集まるのは無理があります。そこで、総会は役員と総代のみなさんによって開催していきたいと考えています。

現在は、持っている車の車種によって五段階（二百円から千円）に分かれています。これを車種や車を持っているかどうかにかかわらず一世帯三百円と、すべて同額にしたいと考えています。なお、会費を集めていただくのは総代のみなさんをお願いします。一世帯三百円という提案の理由は、交通安全協会が一年間に必要とする事業費を町内の世帯数で割り、三百円という金額をはじき出しました。

## 会費は一世帯三百円

交通安全運動を一人一人の力を合わせて進めましょう。



交通安全を親子いっしょに学ぶ「こぐまクラブ」

## ことしから1人2口までOK 町村民交通傷害保険



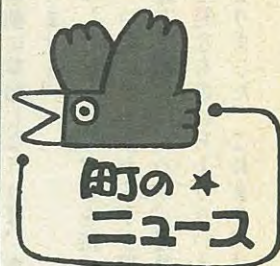
保険期間は来年3月まで

保険料は月額40円

★お申し込み、お問い合わせは役場交通防災係、支所、出張所へ



新入学児童を  
交通事故から守ろう



## たつ鳥 跡を濁さず

幕別中学校

幕別中学校では三月九日と十日の二日間、卒業間近の三年生が奉仕作業を行いました。百十二人が各グループに分かれ、三年間使った校舎を清掃。音楽室の机のペンキ塗り、図書室の整理、除雪、床みがき、カーテン補修などに汗を流しました。「たつ鳥、跡を濁さず」の言葉通り、三年間の思い出を胸にみんながんばっていました。すっきりきれいになった校舎は四月にまた新しい子供たちを迎えます。

「使わなくなった物でも捨てずに、交換して使おう」と、三月十二日に稲志別近隣センターで不用品交換会が開かれました。この催しは稲志別婦人学級（学級長・関口静代さん）と幕別町消費者協会（豊田満代会長）の共催で行われ、子供服を中心に盛況でした。また、食品添加物の映画「食べ物を考える」の上映や、卵の販売も行われました。稲志別婦人学級は三十二名で構成、料理教室や講座など活発に活動しています。

## 稲志別 好評でした 不用品交換

## 刃物とぎの サービス

幕別技能士会

幕別技能士会では、恒例の刃物とぎ奉仕を二月二十八日に町民会館と札内福祉センターでおこないました。この日を待っていた方々は、各種の刃物を持参してドット押しかけ、昨年を上回る持ちこみ点数に、技能士の皆さんもビックリ。「こんなに喜んでもらえるとは」と、うれしい悲鳴をあげながら次々と研ぎあげました。なお、幕別と札内の会場に持ちこまれた刃物は合計五百十九点、変わったところでは紙を裁断する押切りもありました。

糠内中学校の卒業生二十八名は、先輩の伝統を受けつぎ、男女が共同で手作りの記念品を製作しました。手作りの記念品はスポーツ応援用のベンチ。より丈夫なものをと、下部は鉄パイプを使った本格的なもの。全員でアイデアを出し、勝見、佐藤先生の指導で製作しました。また、背もたれには、戦艦ヤマトやトムとジェリーなどのマンガを女生徒が腕をふるって書きあげて完成、手作りとは思えぬ素晴らしい記念品となりました。

## 糠内中学校 卒業記念に ベンチ作り



このコーナーにあなたの周りのニュースを登場させてみませんか。どんな小さな話題でもけっこうです。カメラを抱えて取材にうかがいます。▼連絡先は役場の広報広聴係 ☎ ④ 21111です。

## スポーツ安全協会傷害保険



安心してスポーツを楽しむためにあなたも。

保険期間は来年3月まで。10人以上の団体（学校のクラブ、部活動を除く）が対象です。

保険料は種目に応じ年 340～1600円。

★お申し込み、お問い合わせは 教育委員会・社会体育係 ☎ 4-2006

## きれいな選挙で 明るい町づくり

統一地方選挙、大切なあなたの一票を生かしましょう。

4月8日知事・道議の投票日  
4月22日町長・町議の投票日

# 資源回収事例

## 51年から回収運動の草分け

### 緑町第二公区

資源回収運動はゴミにしていまいそうなものを再利用したり、益金を公区活動費に充てるなどの効用があります。まだ取り組んでいない公区でも、現在実施している公区を参考にして、ぜひ実施してませんか。

緑町第二公区（山崎長一公区長）では家庭環境の整備、回収資金の有効利用、モノを大切に作る風潮の助長を目的とし、東京都豊島区の事例を参考に昭和五十一年八月から始めました。特に、回収資金の有効利用では五十五年十月の公区創設十五周年記念式典にむけて積み立てをおこない、一月末現在で十六万九千二百八十五円に達しています。資源の回収日は毎月十日の定例

会議で決め、二か所に集積して業者に引渡していますが、月平均〇・四トの資源が約六千円になるそうです。回収する資源は紙類、各種のビン類のほか、自転車、冷蔵庫、洗濯機など各家庭で始末に困るものも対象品としているため公区の皆さんに喜ばれています。また、回収の際は「モノを大切にすることの教育を兼ねて、子供たちも参加させています。」



## 廃車バス買い、集会所に

### 相川東公区

相川東公区（真鍋武夫公区長）では、家庭環境の美化と公区集会場を設けるため、昭和五十三年八月からはじめました。相川東公区の事業内容は、広報十一月号紙で紹介しましたように、廃車バスを集会場に改造、喜びの完成式を開催しています。自分たちの集会場が完成をみたため、公区の集会場も多くなり、コ

ミュニケーションが、たいへん良くなったそうです。資源の回収は、回収当日留守にする方の便を考慮し、二日前から集積場に自由持参という方式をとっています。なお、集められた資源の中にはまだ使える品もあるため、公区内の希望する方に引き取ってもらい喜ばれています。



捨ててしまえばただのゴミ。もう使わないから投げてしまおうと思っている物でも立派な資源です。回収して再利用すれば、まさに省資源・省エネルギー。資源回収運動は各家庭に眠っている廃車を再び生かすものです。廃品でも売れます。一世帯ごとの益金は小さな金額でも、公区全体になると大きな額になります。広報でこの回収運動を取材して四回目になりました。どの公区もそこに住む人みんなの力を合わせて取り組む、益金を住みよい地域づくりを生かしています。まだ実施していない公区でも、現在取り組んでいる所を参考にしてぜひ地域づくりに役立ててみましょう。（つづく）

●事業所が事業活動で生じた一般廃棄物及び産業廃棄物

**4月から** 豊岡ゴミ埋立地へ捨てる時、許可がいります。

承認ステッカーを貼っていない車はゴミを投げられません。

▼廃棄物処理手数料

運 般 車 両 の 区 分	月額 (円)
最大積載量が 500kgを超え 1500kgまで	500
〃 1500 〃 4000 〃	700
〃 4000kgを超えるもの	900

★承認の申請(ステッカー交付)、お問い合わせは役場・環境衛生係へ ☎ 4-2111(内線108)



# 新校舎へ引っ越し

自分のいすを持って行列

札内南小

札内市街の人口増にともない、

白人小学校の児童数も増加、これの対策として昨年四月に南小学校を新設。新校舎が完成するまでの間、旧白人中学校校舎で授業をすすめていましたが、新校舎が予定通り完成したため、三月三日と四日の二日間で、新校舎に移転しました。

札内南小学校は昨年六月三十日の起工。学校側では新校舎の完成によって、移転をより有意義なものにしようとして、全校生が自分の椅子を新校舎まで運ぶことにし、三

月三日に実施しました。

良い子の皆さんは自分の椅子をソリに乗せたり背にかついたりして文京町の新校舎まで運び、在校時代の思い出の一コマとしました。

なお、今年には二千五百二十六平方メートルの屋内体育館を建設することになっています。

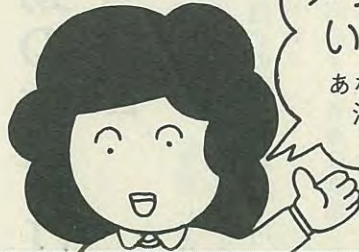
## 校旗もできました

札内南小学校の校旗が出来ました。昭和五十三年度PTA（会長・藤川治さん）会員のみなさんが



募金をし、作ったものです。

制作金額は八十万円。南小学校のこれからの歴史とともに永く残る立派なものです。校章のデザインは川前正男さん（あかしや町）で、六角形は学年を、ペンは学習を表現しています。



メリットいろいろ。  
あなたも消費者協会に入ませんか。  
☎4-2820 (豊田へ)

## 〈会員募集中〉

## 国民年金・保険料 4月から 月額3,300円に

国民年金の保険料が四月から月額三千三百円になります。

国民年金は加入者が年をとったり、母子世帯になった場合に年金を受け取る制度です。しかし、将来受け取る年金がその時の社会情勢や生活水準

に見合ったものでなければ、生活の支えにはなりません。

そこで国民年金は、その時どきの社会情勢に合わせて、少なくとも五年に一度は年金額の見直しを行っているほか、毎年、物価の変動に応じて見直しをしています。昨年七月にも年金額が引き上げられました。

年金給付は、みなさんが負担する保険料と、国が負担する国庫負担でまかなわれています。年金をまかなう財政は現在のところまだ受給者も少なく、加入者八人に対して受給者一人の割合となっており、比較的余裕があるように受けとられています。しかし近い将来、受給者が急激に増加することが予想されています。その財源は今から準備しておかなければなりません。

このような情勢の中で、現在の給付水準を改善することはもとより、将来、より多い年金を受けるためには保険料の引き上げがどうしても必要となります。

しかし、保険料が国民年金に加入しているみなさんにとって急激な負担増とならないよう、毎年段階的に引き上げていきます。この場合、四月から三千三百円に引き上げられます（三月までは二千七百三十円）。新年度の納付書には、新しい保険料の金額を記載してお送りしますので、ご了承ください。

国民年金には、保険料を納めることが困難な方のために保険料納付免除の制度があります。ただし、保険料の免除を受けると、受け取る時の年金額が三分の一に減額されます。国民年金について、くわしいことは役場・年金係へおたずねください。

☎2111 (内線110)

## 篤志寄付者

### のお名前

▽塩沢俊策さん（駒島）から駒島老人クラブへ、マイク・スピーカー・アンプなど放送器具一式  
▽匿名の方から社会福祉協議会へ千円  
▽横田儀市さん（札内中央町）から札内老人クラブへ一万円  
▽幕別ソシアルダンス愛好会から愛情銀行へ三万円